

平田村過疎地域持続的発展計画の概要

平田村 総務課
TEL 55-3111

基本的事項

◇過疎地域持続的発展計画

持続可能な社会の形成と地域資源などを活用した地域活力のさらなる向上の実現に向け、過疎地域の持続的発展を支援し、人材の確保や育成、雇用機会の拡充、住民福祉の向上などに寄与することを目的に、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法が令和3年4月1日に施行された。
過疎地域持続的発展計画は、この法律に基づき、地域活性化などの取り組みを推進していくための計画である。

◇基本方針

地域の特性に基づいた独自のむらづくり方針を定め、地域の資源や可能性を掘り起こし、有効に活用していく地域力が必要である。このような現状を踏まえ「平田村過疎地域持続的発展計画」の策定にあたっては、「平田村総合計画」等の計画との整合性を考慮し、住民参加による行政運営、生活環境整備、産業振興、学校教育環境、福祉の向上及び増進などの諸事業を展開し、住みよく活力あるむらづくりを進める。

◇計画期間

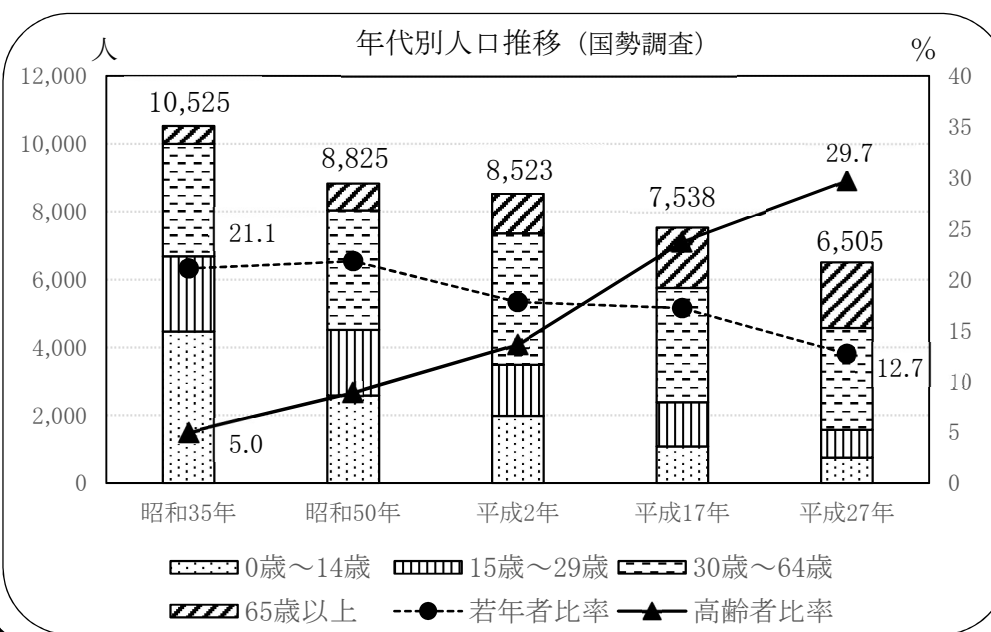
令和3年度～令和7年度（5年間）

◇人口の現状

本村の人口は、昭和30年の10,752人をピークに平成27年までの60年間で4,247人（39.5%）減少している。
一方、高齢者比率は、昭和35年は5.0%であったが平成27年には29.7%まで上昇している。

◇過疎地域指定要件（法第2条第1項第2号）

- (1) 財政力指数が0.4以下
 - (2) 昭和50年から平成27年までの40年間で23%以上人口減少
- 平田村 財政力指数 0.28（H29～R元の平均）
人口（国調） 昭和50年 8,825人 平成27年 6,505人
増減 2,320人減少（減少率26.3%減）



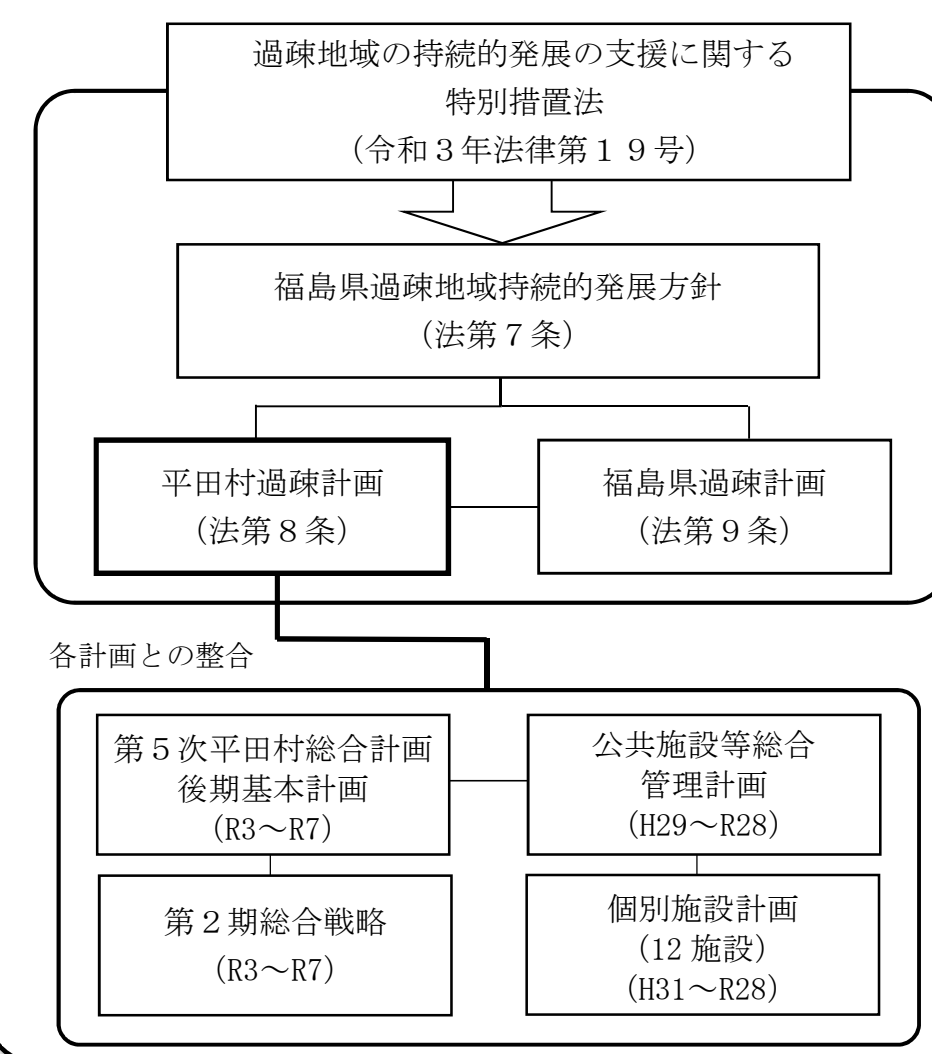
◇将来像 自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら

基本的な方向

◇基本目標

- 「自然に包まれ健康でおだやかな暮らしのできる高原のむら」の実現
- ・人口 5,830人→5,800人
 - ・社会増減の抑制（転入－転出） △61人→10人
 - ・合計特殊出生率 1.55‰→1.72‰（パーミル）
 - ・平田村への愛着度（アンケート結果） 75.7%→80.0%
 - ・定住意向（アンケート結果） 72.5%→74.0%
 - ・暮らしやすさ（アンケート結果） 41.8%→43.0%

◇計画体系



◇施策の方向

- 1 心やすらぐあんしん快適の平田村
 - (1) 健やかに暮らせる環境づくり
 - (2) 子育てをしやすい環境づくり
 - (3) 誰もがいきいきと暮らせる環境づくり
 - (4) 環境に配慮した循環型社会の形成
 - (5) 自然と調和した生活環境づくり
 - (6) 安心して暮らせる環境の整備
- 2 心おどるにぎわい交流の平田村
 - (1) 快適な都市空間の形成
 - (2) 産業の振興、経済の活性化
 - (3) 魅力あふれる観光の振興
 - (4) 豊かな心を育てる教育の充実
 - (5) 生涯学習社会の形成
 - (6) 地域に根ざした文化芸術の創造と振興
- 3 心つながるふれあい協働の平田村
 - (1) 多様な交流の促進
 - (2) コミュニティを軸とした協働のむらづくり
 - (3) 多様性を認める社会の確立
 - (4) 時代の要請に対応した行財政運営

◇計画の項目

- 1 基本的な事項
 - 2 移住・定住・地域間交流の促進, 人材育成【新】
 - 3 産業の振興
 - 4 地域における情報化【新】
 - 5 交通施設の整備、交通手段の確保の促進
 - 6 生活環境の整備
 - 7 子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進
 - 8 医療の確保
 - 9 教育の振興
 - 10 集落の整備
 - 11 地域文化の振興等
 - 12 再生可能エネルギーの利用の促進【新】
 - 13 その他地域の持続的発展に関し必要な事項
- ※【新】は今回計画から追加された項目

計画概要は裏面

平田村過疎地域持続的発展計画概要
主な事業、主な目標（指標・満足度）

1 基本的な事項
・平田村の概況
・人口及び産業の推移と動向
・行財政の状況
・地域の持続的発展基本方針
・地域の持続的発展のための基本目標
・計画期間
・公共施設等の総合管理計画との整合

2 移住・定住・地域間交流の促進、人材育成
主な事業
・平田村移住支援金給付事業
・平田村結婚新生活支援事業
・空き家等適正管理推進事業
・定住促進廃校跡利用宅地化整備事業
・地域おこし協力隊推進事業
・定住促進住宅取得支援事業(特別事業)
目標(指標)
・Fターンウェブサイト登録企業数 0→4 企業
・交流事業参加者数 100→200 人
・婚活イベントへの参加者 306→370 人
・地域おこし協力隊配置数 4→10 人

3 産業の振興
主な事業
・水路整備事業
・中山間地域等直接支払制度交付金
・ほ場整備事業
・花卉野菜振興事業
・畜産振興防疫事業
・道の駅ひらた拡張事業
・創業支援事業
・ジュピアランドひらた維持管理・整備事業
・農業次世代人材投資事業(特別事業)
・農作物等減収対策事業(特別事業)
目標(指標)
・道の駅ひらた利用者 17.9→20 万人

・GAP認証取得者数	1→3 人
・観光集客者	10.4→15 万人
・道の駅売上高	25,200→30,000 万円
・製造品出荷額	14,308→16,000 百万円
・農産物販売額	677→700 百万円
目標(満足度)	
・働きがいのある職場	△1.02→△1.00
・農畜産業林業振興	△0.06→△0.04
・観光レクリエーション施設整備	0.55→0.57

4 地域における情報化
主な事業
・防災行政無線設備保守管理事業
・光ファイバーIRU 事業(保守管理)
・ホームページ情報発信事業(特別事業)
目標(指標)
・ホームページの閲覧 94,738→123,000 回
目標(満足度)
・情報通信体系整備 △0.43→△0.41

5 交通施設の整備、交通手段の確保	
主な事業	
・道路改良舗装事業	
・橋梁長寿命化修繕事業	
・林道舗装及び修繕事業	
・路線バス運行事業(特別事業)	
・生コン等支給事業(特別事業)	
目標(指標)	
・村道改良率	48→50%
・村道舗装率	63→70%
目標(満足度)	
・道路の整備状況	0.46→0.48
・行政からの情報提供	1.64→1.66

6 生活環境の整備
主な事業
・簡易水道施設更新事業
・消防設備整備事業
・民間賃貸住宅家賃補助事業
・交通弱者買物支援事業
・災害用備蓄品購入事業

- ・井戸掘削事業(特別事業)
- ・防犯灯整備事業(特別事業)
- ・合併処理浄化槽設置事業(特別事業)
- ・消費生活相談の充実(特別事業)

目標(指標)

- ・村民一人当たりごみ排出 197→190kg
- ・污水处理人口普及率 66→70%
- ・防火水槽設置数 25→27 箇所
- ・防犯灯等の設置基数 626→715 基

目標(満足度)

- ・自然の豊かさ 5.06→5.08
- ・火災や災害からの安全性 2.87→2.89
- ・ごみの収集処理の状況 2.74→2.76

7
子育て環境の確保、高齢者等の保健及び福祉の向上及び増進

主な事業

- ・こども園自然エネルギー設備導入事業
- ・村民憩いの場整備事業
- ・乳幼児等医療費助成事業(特別事業)
- ・タクシー利用助成事業(特別事業)
- ・総合健診等の充実(特別事業)
- ・肝炎治療促進事業(特別事業)
- ・高校等通学支援事業(特別事業)
- ・赤ちゃん誕生祝金等支給事業(特別事業)

目標(指標)

- ・特定健康診査受診率 40→50%
- ・ボランティア登録者数 120→135 人
- ・認証NPO法人数 1→2 団体
- ・介護や支援を必要としていない高齢者の割合 83.2→85%
- ・カフェひだまり開催数 3→24 回
- ・タクシー券交付件数 156→200 件

目標(満足度)

- ・公園等の整備状況 △1.50→△1.48
- ・保育子育て環境 1.10→1.12
- ・福祉サービス施設整備状況 2.02→2.04

8 医療の確保
主な事業
・石川郡医師会在宅当番医負担金、周産

期小児地域医療支援講座負担金(特別事業)
目標(満足度)
・保健医療サービス施設 1.56→1.58

9 教育の振興

主な事業

- ・小学校校舎等改修事業
- ・小中学校スクールバス運行事業
- ・学校給食センター施設設備改修事業
- ・小中学校情報機器更新事業
- ・複合施設整備事業
- ・フィットネスクラブ利用機器整備事業
- ・図書整備事業
- ・生涯学習情報提供事業
- ・スポーツ活動推進事業
- ・語学指導外国青年招聘事業(特別事業)
- ・学校給食費補助事業(特別事業)

目標(指標)

・図書充足率(小中学校)	94→110%
・地産地消給食実施	10→15 回
・学習講座等参加者	1,074→1,200 人
・体育施設利用者数	23,271→24,000 人
・スポーツ指導者数	35→40 人

目標(満足度)

・スポーツ活動施設整備	△0.14→△0.12
・生涯学習活動や施設整備	0.29→0.31
・子どもの教育環境	0.80→0.82

10 集落の整備	
主な事業	
・地域づくり支援事業	
・空き家貸付助成事業	
・小さな交流拠点整備事業(特別事業)	
目標(指標)	
・空き家の登録棟数	3→15 棟
・登録空き家の利用決定数	1→5 棟
・行政区加入割合	81.2→85%
目標(満足度)	
・人情味や地域の連帯感	1.30→1.32
・集会所など施設整備状況	1.16→1.18

11 地域文化の振興等	
主な事業	
・伝統文化の保存伝承事業(特別事業)	
・文化財保存整備事業(特別事業)	
・文化祭実行交付金(特別事業)	
目標(満足度)	
・名所や文化財の保護	1.20→1.22
・ボランティア活動の支援	0.76→0.78

12 再生可能エネルギーの利用促進
主な事業
・電気自動車急速充電設備設置事業
・公共施設LED設置事業
・太陽光発電システム設置補助(特別事業)
目標(指標)
・再生可能エネルギー導入 102→140 世帯
・充電スタンドの設置 1→3 基

13 その他地域の持続的発展に関し必要な事項
特になし

指標（指標）
第5次平田村総合計画後期基本計画・総合戦略に設定されている目標

指標（満足度）
第5次平田村総合計画後期基本計画策定の際実施した村民アンケート中「村の各環境に関する満足度」

目標(満足度)計算方法
村民アンケート 満足度調査区分 A=不満である B=やや不満である C=どちらともいえないD=やや満足している E=満足している 【満足度計算式】 (E×10+D×5+C×0+B×-5+A×-10) / (A+B+C+D+E)

特別事業
特別事業＝過疎地域持続的発展特別事業（ソフト事業）